

'93

〈第4号〉

はし
8月4日は橋の日

かけはし

発行
みやざき「橋の日」
実行委員会
事務局
宮崎市神宮
東3-2-42
☎(0985) 32-0050
(ながと印刷内)

橋の日シンボルマーク誕生



8月4日 橋の日

川にかかる橋 海にかかる橋
道路にかかる橋 鉄道にかかる橋
身のまわりにはいろいろな橋がある、
目に見える橋、そして心にかかる橋
そこには人と、人のかかわり
自然と、人のかかわり
いろんな思いをつないで橋はそこにある。

作者 齊藤正江 (神奈川県)

橋通り 丁目自治会長 大健
耕治さん、当会の相談役 宮
崎大学名誉教授 藤本 廣さ
ん、初代橋橋を架けた福島邦
成の曾孫 福島順 氏、橋の
日提唱者 湯浅利彦さんの七
名が選考委員となり、選考さ
れました。

作品は、橋に対する考えや
思いが、結晶化された作品で



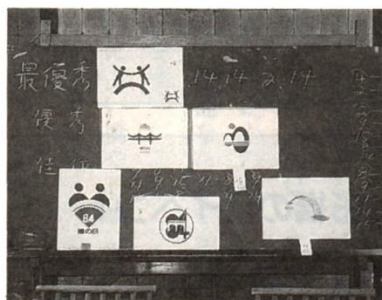
選考会風景

さる六月十九日宮崎市婦人
会館にて、橋の日シンボルマ
ーク選考会が行われました。
シンボルマークは、全国か
ら一〇五名の応募があり、建
設省宮崎工事事務所代理大峰
忠さん、宮崎県土木部 都
市計画課長佐々木勝朗さん、
宮崎市教育長 柚木崎敏さん、

選考にはとても時間がかかり
ました。応募された皆様本当
にありがとうございました。

最優秀賞 点は、神奈川県
の齊藤正江さんに、そして優
秀賞に、名古屋市の石田 隆
さん・石川和子さんの共同作
品 熊本県の中野日出男さん、
佳作に、宮崎市在住の田代隆
士さん 名古屋市の秋田芳廣
さん 長崎県の田原嗣晴さん
が選ばれました。

また、このシンボルマ
ークは、橋の日の旗、テレホンカー
ド 広報等に利用されます。
今後とも全国に橋の日の輪を
広げていきたい、思います
のでご理解とご協力をお願い
いたします。

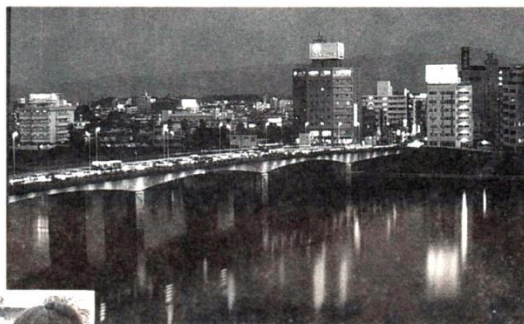


選ばれた作品

楽しい橋の日行事がいっぱい。



清掃活動

川をきれいに
魚の放流

橋への御礼献花



健康まちづくり運動

第8回 延岡橋の日イベント

と き 平成5年8月4日(水) 午前6時

ところ 安賀多橋

安賀多大橋 流しちゃんらぬ
流しや便りが遠くなる(野口雨情)

●橋の日行事

- ①橋の市民清掃
- ②橋上市民ラジオ体操
- ③橋供養(大生け花献花…延岡華道連盟、献酒他)
- ④七色風船配付
- ⑤さわやかに歩こう、安賀多橋

主 催…延岡橋の日実行委員会

(事務局:延岡市山下町 ☎32-5290)

協 力…建設省延岡工事事務所、延岡華道連盟

延岡東ロータリークラブ

延岡東ロータリーアクトクラブ

後 援…新ひむかづくり運動県民会議

第7回 みやざき橋の日イベント

と き 平成5年8月4日(水)

午前9時～午前10時30分

ところ 橋橋周辺

●橋の日行事

- ①橋の日シンボルマーク発表
- ②「朝まだき」作曲発表
- ③橋の日座談会
- ④橋橋周辺及び大淀河川敷の清掃奉仕
- ⑤大淀川をきれいに“魚の放流”
- ⑥橋への献花

主 催…みやざき橋の日実行委員会

後 援…建設省宮崎工事事務所・宮崎県 宮崎市

宮崎日日新聞社・毎日新聞・朝日新聞

・読売新聞・西日本新聞・日本経済新聞

社・NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送

・UMKテレビ宮崎・新ひむかづくり運

動県民会議

第2回 都城橋の日イベント

●橋の図面コンクール作品展示

7月28日～31日 地場産業センター

8月1日～4日 ダビンチ(市役所前)

8月10日～9月3日 宮銀都城支店内

第4回 日之影橋の日イベント

★短歌、俳句の即詠大会★

第4回

橋と人と文化

橋の日座談会

第七回宮崎橋の日を記念して、六月二五日宮崎市婦人会館にて開催されました。今回は、遠く鹿児島からも橋の日の活動を知り、積極的に参加していただいた斉藤さんを含め、橋の日とは、橋とは……論議を深めました。

(参加者・順不同、敬称略)

藤本 廣 宮崎大学名誉教授(橋の日相談役)

斉藤 律子 詩人・鹿児島県天文協会会員

中川 和憲 日向市都市計画課

福島 由佳 都城市都市政策課

青井 正彰 初代橋橋をかけた福島邦成さんの曾孫

湯浅 利彦 橋の日実行委員会副会長

(司会) 鶴羽 浩 みやざき橋の日事務局

司会 本日は、県内はもとより鹿児島からも

この座談会に参加していただいております。今回で通算四回目の座談会となりますが、本年はシンボルマークが決まって事務局としても、ますます張り切っているところで。また、各市町村の橋の日ネットワークもでき、今後ますます楽しみになっています。

それでは、今日鹿児島から来ていただいている斉藤さんにお話しいただきたいと思えます。斉藤さんは、先日詩集を出版されたばかりでございます。

石橋と文化

斉藤 私は今日ここへ参ります時に、まんだら橋に縁がないわけでもない

と思つて参りました。先祖が

長崎の出で旧姓石橋といひますので：

日本で、番古い石橋は、今から一六〇年ぐらいい前、長崎に出来たらしいですね。その歴史的文化遺産ともいえる石橋が鹿児島には五つもあり、五石橋と言われ、今県民の注目の的となっています。文化財としての保存論、文化の発達、交通量の問題など、住民の生命、財産をどう守るかと言う撤去論、四十年代後半から県議会の方で話題になっていくようです。結果的に、移設保存が最前の手法だと考えられてもいます。

湯浅 鹿児島市内を流れる甲突川の五石橋は八四五年から五年間かけて建造されています。

藤本 甲突川の石造アーチ橋の撤去問題は、甲突川の洪水に対する防災問題



藤本 廣さん

題として建設省サイドから出されたものです。しかし、鹿児島大学の建築学科の先生達を中心になって文化財としての保存運動が進められて

いますが、その際、橋の保存というものは、その橋が架けられている川にあってこそ文化財としての価値があるもので、橋を中心とした環境保存を考へるべきだと言われています。その為には、長崎の中島川の眼鏡橋をバイパス流路で保存したような方策がとれば最善でしょうが、甲突川の場合は、それも難しいと聞いています。

斉藤 鹿児島も都市開発の造成等から生じる治水対策問題や、交通量の驚異的増大による道路対策で、五石橋を、洪水調節機能をもつ遊水地内に集め公園にしたらと言う甲突川三三郎公園想定図も計画されているのですが、川にあってこそと保存問題がからんで、解決策は生まれてないのが現状のようです。

湯浅 映画「男はつらいよ」で堀川運河に架

かる堀川橋(石造アーチ)は躍有名になりました。

詩人野口雨情が昭和十年油津を訪れた時、堀川橋を詠んでますが、文化的にも歴史的にも宮崎県が誇れる橋だと思います。「水と筏(いかだ)」を堀川橋の石の手すりを見て暮らす」野口雨情

青井 実は新聞で見たんですけど、佐賀県の太鼓橋というところですね。河川改修で、歴史的な建物が



青井正彰さん

取り壊されそうになった。ところが住民達が、それを文化財として保護してほしいと陳情しましてこれが残ったのです。他に移して残すことになったとありますが、そこにあってこそ橋としての文化財の価値があるわけです。

藤本 諫早市の眼鏡橋では、逆に移転したこ

に解体したところ非常に巧妙な基礎工事が施工されていたのです。それは、軟弱地盤の上に松丸太で梯子を組み、その上にあの重たい石橋を載せていたのです。

斉藤

鹿兒島には、涙橋と言うのがあります

て、昔、小さな丁稚さん達が、その橋を境に、親元を離れて働きにきていたとも聞いてます。このように橋には、いろいろなロマンがありますね。

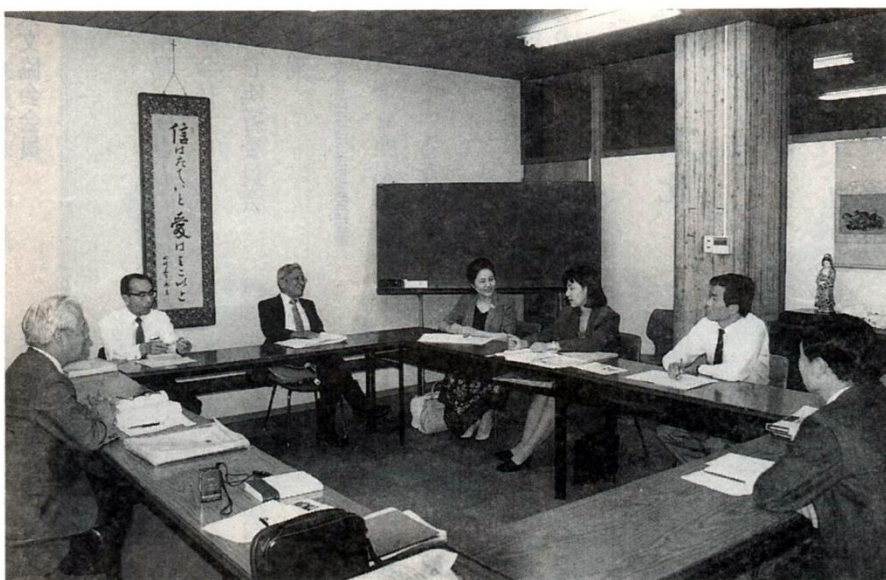


斉藤律子さん

青井

歴史的にそのような話はたくさんあります。近代史の中では「トコリの橋」他映画の中にも数多く橋がとりあげられています。

「戦場にかける橋」もそうですね。だから橋というのは、人間生活の上に非常に大きな根をおろしているのではないのでしょうか。例えばロマンがあり哀しみがあ、喜びがあ



り、橋の中に全て込められている感じがしますね。

司会

鹿兒島市で「守る会」がつくられていますとお聞きしましたが、

斉藤

守る会はあるのですが、日に日に変化する都市化との対立で、世論を分した形ですね。

司会

壊してしまったらおしまいなんですよね。

青井

外国の橋は長持ちしますね。

藤本

宮崎市の近郊でも、防災上の理由で、石橋が新しくつくりかえられていますね。最近では瓜生野に

あった石造アーチ橋がそうですね。以前お話ししたかと思うのですが、宮崎県内の石橋は、都城あたりでは鹿兒島の技術が、高千穂の方では、熊本から直接に技術が入っているようです。石橋は九州に多い。

本州の方では少ない。江戸時代徳川幕府は木造橋以外は造らせなかった。又、重要な街道筋には橋を造らせなかった。

大井川の渡しなど。それから日本人の橋に対する考え方として、川の流れにあまり抵抗せずに洪水のときには自然に流れるにまかせるという対応の仕方もあった。これも生活の知恵と、前大阪大学教授の上田篤氏が、「橋と日本人」(岩波新書)という本の中で書かれています。又、潜水橋という橋の架け方もありますね。

青井

宮崎でもときどき潜水橋といって潜り

橋がありますね。あれは橋が流れない。つは橋に対する順応性、日本人の特有の生活感覚というものです。

司会

石橋は、紀元前の橋が現存していると

のことです。日本にも中国にも一〇〇年経っているものもあり、九州にはとくに石橋が多く、一〇〇年前の橋が残っているのは、とても感動的です。私たちの祖先もきつと渡ったに違いありません。

飽きのこない

ものが一番

青井

橋だけでなく人間の心的なもの、川や水辺もまた、生態系を含めて、橋に包含し橋の日と呼び方で、しているのです。そうすると参加している子供さんたちが水辺と橋という認識をもち、技術と橋との結び付きが出てくるのではないのでしょうか。

司会

橋もわりに遊び心が、必要ですね。

藤本

ただ通俗になりすぎ、単に絵をかけたば良いだろうとか、安っぽい彫刻や置物を橋の親柱とかに置いてもらっては困る。この頃よく道路の擁壁とかトンネルの入り口とかに子供に絵を描かせたりすることがありま



中川和憲さん

すが、工事中の板囲いなど、仮設物に描かせるのなら話はわかりませんが、橋などの永久構造物に下手な絵やあくどい色彩の絵を描くことは止めた方がよい。安物の絵の具ですぐに色褪せてかえって汚くなる。延岡の市道のトンネル入り口の橋の絵が悪い見本だった。色の暴力」とまで市民から言われた。橋などは結局、見飽きないものが良いということになる。

中川

今、モノが溢れている。何でもある。考えたものは何でも揃う。だから逆に絞りにくい。えらいタンカをきったわりには、金をかけたわりにはこんなものかと批判される。

今日向市では市内最大の橋を建設中で、何か特徴を持った市民に親しまれる橋づくりを目標に種々の検討を進めて

います。

現在、この橋の架かる塩見川沿いを整備しようとする計画があり、その中でそれぞれの橋にテーマを設けて連の流れの中で、その存在感を表わそうとしています。

結局は、いろんな議論の中で残る案は、シンブルなデザインに落ち着きそうです。

福島

長い間使ってきたと飽きがこないものが、番ですね。都城市では、平成三年度に級河川、沖水川にかかる橋、沖水橋の改修を行いました。市民に親しま



福島由佳さん

れる橋と市外から来た人が、都城に入る玄関口としての橋という一つの重要な役割をもつものであったため、橋のデザインは都城の地場産業に寄与されてる、さつま餅のデザイン、永江明夫氏にお願いしました。高欄、親柱、歩道と

もに緋の柄がデザインされた郷土色豊かなものです。

司会

高千穂にはアーチが多いですね。

藤本

高千穂鉄道時代には、いろいろなタイプの橋が架けられています。

あれは、当時の国鉄が意識的にそうしたようです。高千穂町や日の影町には確かにアーチ橋が多い。それは、地形上アーチ橋が都合が良いからです。昨年、高千穂バイパスの橋のタイプを選ぶのに建設省が委員会を設けて検討しましたが、アーチ橋が多いので、「アーチの里」という発想も面白いと思ったが、結果的には別の新しいタイプの橋にしました。その過程では、高校生から大人まで色々な人の意見をアンケートの形で聞きました。

橋とデザイン

斉藤

四月のはじめ、上京したとき、多摩川

河畔に参りました。すばらしい桜並木の向こうに、シンブルな橋がなんの違和感もなく、

と言うより周辺の景色に良く

マッチして春の柔らかな絵にの思い出します。どんなに美しい橋を作っても、景観にそぐわなかったり、また川が汚染されているのは台無しですものね。

藤本

橋のデザインというものは、建築のよ

うに自由度がなくて力学的なタイプが定まっています。かえって難しい面があります。

桁橋とかアーチ橋とか、ただしアーチ橋には、アーチの上を「上路橋」、アーチの中を通す「中路橋」、アーチの下を通す「下路橋」とありますが、あとは吊り橋とか、最近よく架けられる斜張橋、この斜張橋が最も橋の中ではデザイン上の自由度が高いようです。

斉藤

先だってNHKで鹿児島の竜門の滝が選ばれて

いました。そこより、もっと大きい曾木の滝は選に落ちたとか。理由は滝の真上に橋が架かっていたからと聞きました。やはり不釣り合いだった

のでしうか。

青井

宮交シティで橋の写真展をやりました

よね。あの時に日之影町から出展された、自然の根っこが、橋の役割をしているのがありましたが見て楽しいですね。

橋の日って何

司会

今日は、鹿児島から斉藤さんがいらしているの、橋の日についてのご感想等いただきました。

斉藤

私が橋と言って番にイメージするこ

とは、清流、新緑、小石、青空、つり橋、そして橋をかけて隣町へと言うわくわくするような夢があったことです。今はもうメルヘンに近い存在なのかも知れませんね。

司会

そういう意味では、橋の日は、過去や未来を見つめるいい機会ですね。

斉藤

私は、宮崎に来る時いつも大淀川は美

しいなと思います。途中いくつも橋を渡り、町の中をゆったり流れている大きな川、と

でもすばらしいですね。

司会

ありがとうございます。
ます。今日は、橋を

切手のデザインをつかったものを集めた本や参考文献を持参いただきましたので、みなさんにどうぞご覧ください。

藤本

橋の日のきっかけを教えてください。

湯浅

橋の日の誕生は、提唱しました。姉妹河川運動の線にありますが、どなたにも川や橋について思い出がおりるように、私も子ども頃からたくさんさんの思い出があります。

都市空間に占める橋にもつ



湯浅利彦 さん

と関心を持つ機会があればと提唱したわけです。橋の歴史・文化を知る意味で、橋の今昔写真展を開いたり、色々とそういった事で、私自身大変勉強になっております。



司会

都城は昨年から、橋の日に取り組まれています。行政としてどんな活動をされていますか。

福島

これから都城は、市街地に入るところに架かる橋は、基本指針のもとに改修していく予定です。昨年は年見川の整備計画の政策の環として「年見川を

こんな川にしたい」「年見川にこんな橋をかけよう」という一つのテーマで、市内の小学生を対象に図画コンクールを行いました。年見川にかかる橋を改修するにあたって、子供達の発想を参考にしたいというのですが、一〇七点集った作品を見ても子供達の川に対する思い、橋に対

する思いが強いのに驚かされました。

司会

そうですね。私たちちの街でも、子供さんから夢見る橋を描いていた時代もそうでした。

ところで、地元宮崎では、宮崎のシンボルともいえるべき橋橋で橋の日を開催していますが、初代橋橋をかけられた福島邦成の曾孫さんにあたる福島順 さんに当時の様子について教えていただきたいのですが。

橋橋物語

福島順一

私が子供の頃、宮崎県で過ごした

るものは、県庁と橋橋と言うことが言われました。県内には、高千穂の鉄道橋や、雲海橋、綾の吊橋等名の売れた名橋も数多くありますが、今日は初期の橋橋についてお話し



福島順一 さん

ます。

明治初期に大淀川になかなか、橋がかからなかったのは、川巾の広さと、河床の礫や岩による固さが木杭式橋脚では困難との専門家の判断があったからだそうです。

当時、鹿児島県から技術者が来て、調査時の岩村通俊県令に、不可能の報告をしたそうです。そのため、私の曾祖父が明治十一年架橋申請しても、県が駄目なものを、個人がと却下されました。邦成は専門家の意見も聞き、橋の構造、規模、材料、労務、予算等をつけた計画書を作成、鹿児島県庁に提出、数回の修正指示を経て、明治十二年一月許可を得て、一ヶ月で竣工。他の文献によれば、明治九年西南の役で、西郷軍が熊本から負走中、時私の家に陣をとり、官軍に迎戦、利あらず大淀村に火を放ち、用意した大淀側の舟で宮崎側へ逃げ、官軍は舟がないため、舟の調達に暇どり、そのため西郷軍は延岡北川方面まで逃げのびられたのようです。

鹿児島は負け戦には橋がない方が戦略上良いとの考えもあったのではないかと思います。しかし、洪水等で何日も往来できない住民の困った様子や声をきき、不退転の決意をしたようです。そのとき焼けた家の瓦で敷きつめた露路が私の家の前に少し残っています。

地元でさえ橋が出来るまでは、大多数の人は、土木に素人の医師が、どうせ失敗するだろうと、あざけていたが、竣工時は賞讃に変わったと、邦成日記にあります。

その後、明治十六年橋橋は県に移管されています。

司会 知ることは愛することの原点なりと申します、ますます橋橋に興味を持ちました。橋の日は、

このような色々なお話や思い出、夢をかたること、橋がもっと身近な存在にしていかなくはなりませんね。

斉藤・ 宮崎でこのような

すばらしいことをはじめられたのですから、隣県の私たちも喜んで参加したいですね。また私達地球人とし

て、隣接している中国や韓国はもちろん、世界中どここの国へも自由に行き来出来る、かけ橋も架けてもらいたいですね。

また、出来るものなら、牽牛と織女のために天の川にも橋を架けていただけたら、どんなに楽しいでしょう。

司会

そうですね。そんなドラマを歌や詩にして、もっと楽しい橋の日にしたいですね。本日は、皆様ありがとうございました。



第7回

橋の日企画

朝まだき作曲

大正二年、長塚 節が、橋より詠んだ句に斉藤正浩先生より作曲をしていただきました。

本日は、遠い昔を想い、橋上で歌いたいと思います。

朝まだき

詩 長塚 節
曲 斉藤 正浩

朝まだき

涼しく渡る

橋の上に

霧島低く

しずみたり見ゆ

特別寄稿

橋の日って何

みやざき橋の日事務局 鶴羽 浩

「川風に浴衣姿の肩車」川風をうける橋の上を、肩車で歩く親子。今では余り見られなくなった風景ですが、當時を懐かしく、そして大人になった今でも、親子のふれあいやゆとりを感じる風景です。この作品は、橋の日川柳大会の作品のひとつです。

私達は、第 7 回の橋の日から、この様な企画を通して、橋や河川に親しむ、そして橋を好きになる行事をおこなってまいりました。

この橋の日は、橋のハシの語呂合わせで、八月四日に橋の日しようとな案しました。夫婦の日 母の日、いろんな記念日がありますが、橋の日もあっていいんじゃないだろうか。そんな単純な発想でした。

普段は、橋は道路の延長線で見えないうちは、受け止め

られていなくて、橋はさびしい思いをしているのではないだろうか。そんな意味では、橋の誕生日にもなる日なのです。最近では、機能面だけの橋という考え方も見直され、人にやさしい、文化の匂いがする橋がたくさんつくられるようになってきました。

外国へ行くときすぐ市民の方々が自慢するのは、橋という場合が多いようです。実際、まわりを見回してみると、橋は長い寿命を持ち、その歴史の中でいろんな人や物、思い出に深くかかわっているのです。いろんな映画や歌にも橋が登場してくるのは、やはり人と大きなかわりをもっているからに他ならないからだと思います。

特に古い橋や石橋には、いろんな伝説や逸話が登場します。都市環境は非常に、人々の暮

らし方や町の雰囲気にな大きな影響を与えます。その意味では、橋の果たす役割はとても大きいものがあると思います。昨年、こども達による「こんな橋があつたらいいな」という企画でいろんなアイデアが出されましたが、本当に感動的でした。

人は、水や緑を見るときは、水や緑を感じます。そんな人との接点は、橋上の景観や橋のデザインにあります。



これまで以上に、機能面をクリアした上での楽しい橋が誕生するのを、心待ちにしています。

また、カタチだけの橋だけでなく橋には、こころの架け

橋・夢の架け橋という橋もあります。そんな意味では、この橋の日も、人と人を、こころとこころをつなぐ橋の日にもなりたいと思っています。

もし、橋がなかったらどうでしょう。昔は物と物との交流にも困りましたが、人と人との交流にも、橋は大きな役割を果たしていたと聞いています。

ある村では、目に見える向こう岸の村なのに、結婚や親戚づきあいもなかったと聞いています。やはり橋は物もこころもつなぐものだとそのお話を聞いて実感しました。

それでは、ここで橋の日の行事を紹介しましょう。

そのひとつに「橋の日座談会」がありますが、これもとても面白い行事です。

いろいろな分野の方が集まり、それぞれ違った角度からお話をしていただきます。

それは、中世から江戸時代、未来へと続きます。

そして年齢も小学二年から八〇歳までと幅広く、みんな集まればたくさんの意見が寄席

られるというのも、橋への潜在的な関心の高さを伺わせるものです。

こんなエピソードもありました。

偶然、私の会社のSさんに、橋の日の話をしますと、以前子供さんが橋の日に参加され風船を飛ばそうという企画で他市の子供との交流ができたとの話を聞きました。

やはり、継続。そして、少しづつ核を広げていくことで、いろんな人のこころの中に思いついての橋や思い出が残っていくんだなと思いました。

今年も八月四日。七〇年前に地元宮崎の橋橋上で詠まれた詩に曲をつけて発表したり、魚の放流、橋、河川の清掃等行います。多くの人に参加していただきたい、また他県でも、この楽しい橋の日が開催される日がくることを夢みています。

(協力いただいた団体企業の皆様)

●一般

建設省宮崎工事事務所 宮崎県 宮崎市 宮崎女子高校 宮崎小学校 宮崎県産業開発隊 ボーイスカウト 橋通り商店街 中村町商店街 宮崎県測量設計業協会 宮崎県建設業協会 宮崎地区建設業協会 雲海酒造株式会社 株式会社ボンベルタ橋 全日空

●橋メーカー

オリエンタル建設宮崎営業所 昭和コンクリート(株)宮崎出張所 住友建設(株)宮崎営業所 (株)富士ビーエス宮崎営業所 株式会社ビーエス(株) 宮崎事務所 ビーシ橋梁(株)宮崎営業所 極東工業(株)宮崎営業所 コアツ工業(株)宮崎営業所 川田建設(株) 宮崎営業所 ショーボンド建設(株)宮崎営業所 清本鐵工株式会社 草野産業(株)九州支店 南日本道路興業(株) (株)エフエム鉄 永鋼産業(株) 日本橋梁建設協会九州事務所(以下の通り)
(株)アルス製作所 石川島鉄工建設(株) 石川島播磨重工業(株) 宇部興産(株) (株)片山鉄工所 川崎重工業(株) 川田建設(株) 川鉄鉄構工業(株) (株)栗本鐵工所 駒井鉄工(株) (株)神戸製鋼所 (株)酒井鉄工所 (株)サクラダ 佐佐保重工業(株) 佐藤鉄工(株) 新日本製鐵(株) 高田機工(株) 龍上工業(株) (株)東京鉄骨橋梁製作所 トビー工業(株) (株)巴組鐵工所 日本橋梁(株) 日本鋼管(株) 日本鋼管工事(株) 日本車輛製造(株) 日本鉄塔工業(株) (株)春本鐵工所 東日本鉄工(株) 日立造船(株) 富士車輛(株) 古河機械金属(株) 松尾橋梁(株) 丸誠重工業(株) 三井造船(株) 三菱重工業(株) 三菱重工工事(株) (株)宮池鐵工所 (株)横河橋梁製作所 横河工事(株) 住友重機械工業(株) 大谷櫻井鉄工(株) 川田工業(株)

編集後記

梅雨明け宣言が出されて以来、雨続き。暑中見舞いも行き場を失った感じです。

第5回の橋の日より、橋にまつわる歌をつくってききましたが、今年は「朝まだき」を、橋の日の歌を作曲していただいた斉藤正浩さんにご依頼し、完成。

宮崎女子高校のご協力で合唱したものをテープ化し、素晴らしい作品に仕上がっています。また、地元の商店街の方にも、いろんな面でご協力いただきました。

このようなたくさんの方々を支えられて、この行事ができることをこころから感謝いたしております。そしてその過程で、橋に対する思いやエピソードをお聞きするたび、橋への思いが、深い、と感じさせられました。今後も、そんな思いや夢を橋渡しする実行委員として頑張りたい。